

「世田谷こどもを守る会」1周年記念イベント
「給食について、考えてみよう！」
2012.6.30

講義スピーチをそのまま文字に書き起こしました。一部、文字に起こせない聞き取り不明瞭な部分もありますことをご了承ください。

【第一部】 世田谷区 保坂展人区長より ごあいさつ

みなさんこんにちは。今日は給食について考えてみようということで、1周年を迎えた世田谷子供を守る会。後援世田谷区。大変意味深いシンポジウム勉強会になることと思う。

世田谷区が取り組んだことを簡単に話す。

311原発事故が起こる。

その後、わたしの記憶では、日本ではじめて原発反対について銀座で300人くらいのデモがあった。

その頃、ドイツでは10万人を超えるデモがあった。

ご存知通り、ドイツでは、倫理委員会にて、一旦拡大を決めたことを覆して、脱原発を宣言した。

イタリアは9割を越える国民の声で同じようなことがあった。

日本では事故当時、現状が伝わらなかった。情報が無い中で、世田谷区内の空間線量についてもわからなかった。

当時就任した当時は、4月末（昨年）新宿のモニタリングポスト、深沢のモニタリングポスト2箇所だけだった。

これは問題だと、区長会で全体として都や国に働きかけていこうということになった。その機に増やしていこうという動きとなる。

関根さん（栄養士）から5月（昨年）くらいの段階で給食についての要請（測定）があった。

栄養士の立場からまずできることはなにか。すぐにできることはということで、牛乳だろうとなった。牛乳は世田谷区4万人が明治を飲んでいる。

サンプリング調査すればわかる、ということで、牛乳の検査をした。11月頃（昨年）に数字がでてきた場面があった。

世田谷区が直接牛乳を買っていると思っていたら、学校給食会にお任せをしていた。

牛乳メーカーも指定されるし、各県のミックスされた牛乳とわかった。

いままで知らなかった牛乳の体制。子供たちに安全な牛乳を頼むということで、その後、抜き打ち検査などをし、今に至る。

「世田谷こどもを守る会」1周年記念イベント
「給食について、考えてみよう！」
2012.6.30

この機械でやろうと決めていた測定器は最低検出限界が高すぎるという声が出た（子供をまもる会から）

検出限界値が低いもので、メンテナンスの面も考えて、変更した。

役所というのは、一旦決めたら、間違っていて正しいのだ、とふるまっていた過去の歴史があたったのだが、

役所の現場もこどもを守る会の方が詳しいぞ。ということで、協力しながら学校、園給食の検査をしている。持ち込み検査もしている。

先ほど、新聞記者から、世田谷区独自の基準はないのか？質問があったのだが、それに対しては、昨年5月に出た、暫定というのはしばらくの間という意味であって、暫定はいつまでか？8月に子供に配慮のある数値にしてくれと要請した。（細川厚生労働大臣）

のちに、小宮山氏（世田谷）が厚生労働大臣になったので、その時にまた要請した。

世田谷区が求めただけではないかもしれないが、きっかけにはなった。

空間線量に関しては、2.35シーベルト/hが弦巻から出た。おかしい。市民からの通報だった。

なるべく早く情報公開しよう。非常に局所的に出ている。上がやけに高く、下が低いというおかしな状態だが、理由もわからず公開した。

その時に、NHKで世田谷区 飯館村より高いという情報が報道された。CNNなどからも取材がきた。

結果は、床下からラジウムが出た。ということだった。

このとき、細野環境大臣に誰が責任者となるのか？と聞いたら、仮置き場に持って行ってください。世田谷からいい例を見せてください。

ラジウムになったとたん、文部科学省の責任範囲（※備考1）が窓口となった。知らないよとなることはいけない。国に基準をつくった。文部科学省が作った、それが1 μ シーベルト/h+周辺線量

それを超えた場合は、国が調査にくる。第一に千葉県柏市、第二が世田谷区八幡山（※備考2）の現場となった。

※備考1：試験研究用原子炉や核燃料物質の使用施設等については、「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」（「原子炉等規制法」という。）に基づく安全規制を実施（文部科学省ホームページより抜粋）

「世田谷こどもを守る会」1周年記念イベント
「給食について、考えてみよう！」
2012.6.30

※備考2：八幡山のスーパーで毎時170 μ シーベルト/hを超える線量を計測した。(昨年11月)

これから、10時から17時までワールド・カフェ（※備考3）。区のこれらについて無作為に手紙を送って参加しているワークショップがあるので、これにて退席するが、区と住民が協力したシンポジウムが継続していくことを望む。ふくしまっ子リフレッシュ in 世田谷（※備考4）も継続して実施していきたい。

###